

平成23年度 特別推進研究 審査結果の所見

研究課題名	オートファジーの分子機構の解明と細胞生理学への統合
研究代表者	大隅 良典
審査の所見	<p>応募者は、細胞が飢餓などに曝されると細胞質中で大がかりなタンパク質分解が誘導されるオートファジー（自食）現象について、発見から基本的分子機構の解明までを先導した研究者である。その研究業績は、我が国発の独創的成果として国際的に高い評価を受けてきた。本研究は、オートファジーについて未だ解明されていない、基礎的ではあるが重要な諸問題を酵母を主材料に解決しようとするものである。やや研究計画が広がりすぎる点を懸念する意見も出されたが、本計画は余人には遂行が叶わない貴重なものと判断される。5年の研究期間に焦点を重要問題に絞り込んで、応募者が文字どおり研究者としての集大成を目指す研究として、特別推進研究に採択することが適当であるとの結論に至った。</p>